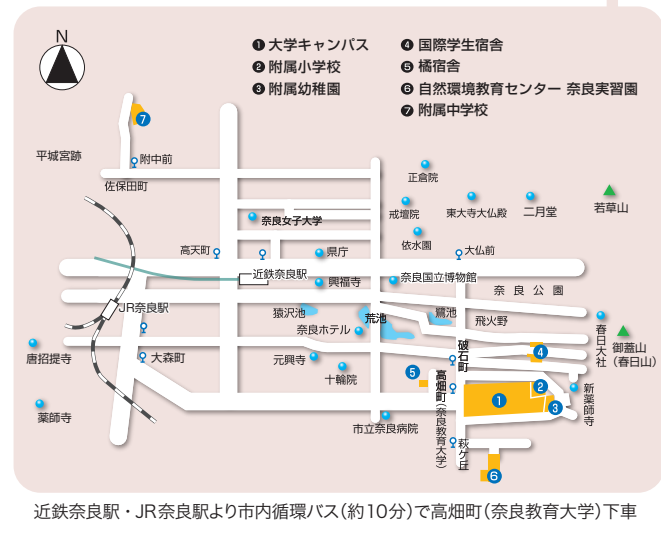
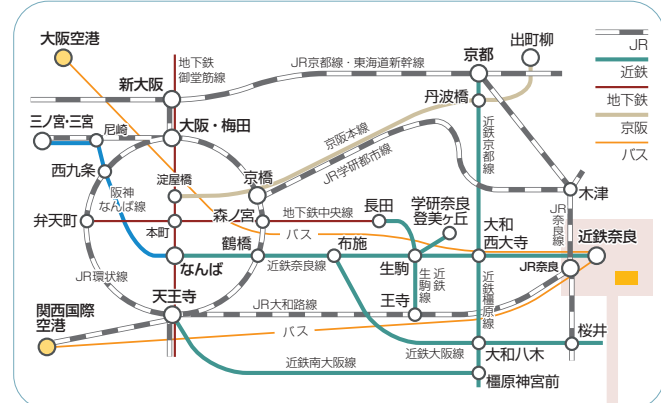


奈良教育大学アクセスマップ

主要駅から奈良までの所要時間

大阪	約50分	京都	約45分
なんば	約35分	三宮	約80分



このリーフレットは概略版です。詳細な数値や情報につきましては、大学概要 2015 (URL: <http://www.nara-edu.ac.jp/guide/bulletin/>) や 本学ホームページ (URL: <http://www.nara-edu.ac.jp/>) をご覧ください。

特に記載のない限り、掲載データは平成 27 年 5 月 1 日現在

編集・発行 / 国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL 0742-27-9104
E-mail kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp
奈良教育大学ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

建物配置図 教育学部・附属小学校・附属幼稚園



建物情報 奈良教育大学・附属小学校・附属幼稚園

- | | |
|---|--|
| R1 理科1号棟
Research Building (Science 1) | R10 美術・書道実習棟
Research & Practice Building (Arts & Calligraphy) |
| R2 理科2号棟
Research Building (Science 2) | R11 文科棟
Research Building (Humanities) |
| R3 技術棟
Research Building (Technology) | R12 文芸棟
Research Building (Humanities & Arts) |
| R4 新館1号棟
Research Building (PE) | R13 教職大学院棟
Research Building (School of Professional Development in Education) |
| R5 新館2号棟
Research Building (Mathematics & Pedagogy) | L1 講義1号棟
Lecture Building 1 |
| R6 新館3号棟
Research Building (Japanese) | L2 講義2号棟
Lecture Building 2 |
| R7 音楽棟 (B)
Research Building (Music) | L3 講義3号棟
Lecture Building 3 |
| R8 音楽棟 (A)
Research Building (Music) | L4 講義4号棟
Lecture Building 4 |
| R9 美技棟
Research Building (Arts & Tech) | |

設備情報

- | | | | |
|--------|--------|------|-----|
| エレベーター | 多目的トイレ | 食・売店 | AED |
| バス停留所 | 駐車場 | 案内 | |

- | | | | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|----|--------------|---------------|
| 車いすで出入り
可能な入り口 | 車いすで出入り
難しい入り口 | スロープ | 階段 | 3cm以上の
段差 | 悪路
(砂利道など) |
| 勾配の
大きい坂道 | 建物 | 建物(ピロティ部分) | 植栽 | 池・
プール | |
| グラウンド・
コート | 車いすで通行
可能な門 | 車いすで通行
不可能な門 | | | |

国際交流

国際交流協定締結校



海外派遣留学生 (平成27年度出国)

派遣先大学	人数
セントラルミシガン大学(アメリカ)	2
ロックヘイブン大学(アメリカ)	3
リヨン第三大学(フランス)	3
計	8

外国人留学生

国籍	人数
中国	23
インドネシア	3
ベトナム	3
ロシア	3
インド	2
韓国	2
フランス	2
タイ	1
カンボジア	1

国籍	人数
イラン	1
ボスニア・ヘルツェゴビナ	1
ドイツ	1
ハンガリー	1
ポーランド	1
ルーマニア	1
スウェーデン	1
アメリカ	1
メキシコ	1



地域連携

ならやまオープンセミナー (公開講座)

地域や市民の皆様を対象とした公開講座、セミナー、シンポジウムなどを開催しています。開催講座等は <http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/> をご覧ください。

フレンドシップ事業

教員の養成段階において、本学学生が様々な体験活動を通して子どもたちとふれあい、子どもたちの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を身につけることを目的に、様々な事業を実施しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/general/friendship%2023index.html> をご覧ください。

オープン・クラス

大学を生涯学習の場として活用するという社会的要請に応えるほか、地域社会と大学との連携を深めることを目的に、大学の一部授業を学生と共に受講いただけるようにしています。詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/open_class/ をご覧ください。

学校図書館司書教諭講習

学校図書館法第 5 条第 3 項の規定に基づき、学校図書館の専門的職務に携わる司書教諭を育成するため、文部科学大臣の委託を受けて実施しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/students/books.html> をご覧ください。

教員免許状更新講習

平成 19 年 6 月に教員免許法が改正され、平成 21 年度から教員免許更新制が導入されました。本学では、奈良県内の大学・短期大学・その他の機関と連携して、教員のニーズに応じた多様な講習を実施しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/license.html> をご覧ください。

教育職員免許法認定講習

この講習は、文部科学省の「特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業」の委託を受けて実施する講習です。特別支援学校並びに小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の教員を対象に、特別支援学校の教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得させ、併せてその資質の保持と向上を図るものです。詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/nintei_koushu.html をご覧ください。

施設利用

講堂、グラウンド、テニスコートや講義室などを、地域や市民の催しなどでご利用いただけます。(ただし、本学行事・授業・課外活動などの関係上、ご希望に添えない場合があります。) 詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/general/facility_utilization.html をご覧ください。

教育研究に係る連携協定

教育や研究、学生ボランティアの派遣などについて、奈良県内外の教育委員会や各機関と連携協定を締結しています。

協定先	主な目的等
奈良県 奈良県くらし創造部	「地域の教育力」を再生する方策に関する調査・研究 「地域の教育力」モデル地域調査事業
奈良県教育委員会	実践総合センターと県立教育研究所との、いじめ、不登校問題等教育課題への取組に係る連携 教育連携に係る包括協定 県立青翔高校との実践的共通研究と県立数科教育の充実、科学者、技術者の養成 教育連携協定
奈良県立平城高等学校 奈良県立高田高等学校 奈良県立山辺高等学校 奈良県立青翔中学校・高等学校 京都大原学院(小中一貫校)	教育連携協定 教育連携協定 理数プロジェクト中大地域連携事業に関する協定 理数プロジェクト中大地域連携事業に関する協定 教育連携協定
奈良市	教育連携に係る包括協定 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 幼稚園・小学校・中学校への学校教育活動支援事業(スクールサポート)と相互の教育支援・拡充 「先導理数プログラム」推進事業 包括協定事項追加(教員養成GP「健診の場」) 学科指導教室「ASU」への学生(学習チューター)派遣と相互の教育支援・拡充
奈良市教育委員会	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
大和郡山市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
天理市 生駒市 曽爾村 平群町 奈良工業高等専門学校 奈良女子大学 帝塚山大学 天理大学 奈良大学	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定 包括連携協力に関する協定 教育研究等の協力協定 教員養成の高度化に関する連携協定 教員養成の高度化に関する連携協定 教員養成の高度化に関する連携協定 小中学校への学生派遣による支援、学生の資質向上と実践的指導力の育成 教員を目指す学生等の資質向上と実践的指導力の育成 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 連携協力に関する協定
京都府教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 連携協力に関する協定
京都市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 八尾市教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 柏原市教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 千早赤阪村教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 堺市教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 羽曳野市教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 東大阪市教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 交野市教育委員会 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 神戸市教育委員会 「スクールサポーター」制度実施に係る協定 高エネルギー加速器研究機構 教育研究等の協力協定

単位互換に係る連携協定

協定先	協定締結年月日	主な目的等
放送大学	平成14年3月13日	学部単位互換
帝塚山大学、天理大学、奈良大学 奈良県立大学、奈良県立医科大学 奈良学園大学、奈良女子大学	平成20年3月10日	奈良県内大学間での 学部単位互換
京都教育大学、大阪教育大学	平成25年3月21日	京阪奈三教育大学 学部単位互換
奈良女子大学	平成7年12月25日	大学院単位互換
滋賀大学、京都教育大学 大阪教育大学、和歌山大学	平成8年1月30日	大学院単位互換

広報誌「ならやま」

本学の教育実践、研究内容、学生の活動状況等を受験生やその保護者等に紹介するための広報誌



特別教育研究経費採択状況

文部科学省において、新たな教育研究ニーズに対応し、各国公立大学等の個性に応じた意欲的な取組を重点的に支援するとして、採択された事業。

区分	事業名称	採択年度	事業(計画)期間
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	ESDを核とした教員養成の高度化	平成27年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	地域融合で数科教育研究拠点における 実践的教員養成プログラムの開発	平成26年度	4年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	地域連携に基づく特別支援教育人材養成モデル推進事業 ～ICT活用による人材と教材のネットワークの構築	平成25年度	3年
幅広い職業人の養成や 教養教育機能の充実	「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成に向けた 持続可能な発展のための教育活性化プロジェクト	平成25年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	京阪奈三教育大学教育連携推進事業 ～一連授業を取り入れた教育課程の共同実施の構築に向けて～	平成24年度	3年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	教員養成機能の充実	平成24年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	実践的数科教育研究のための 大学院教育プログラムの開発	平成23年度	3年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	先進的な数科科目体系のモデル開発 ～カリキュラム・フレームワーク(Curriculum Framework)の構築的進化・ 高度化による学びの組織化～	平成22年度	3年
地域貢献機能の充実	地域全体でライフサイクルのニーズに応じる 特別支援教育モデル推進事業 ～教育実践等との連携による大学のセンター機能の強化と人材育成～	平成22年度	3年

各事業の詳細は、<http://www.nara-edu.ac.jp/research/> をご覧ください。

附属学校部

本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究、並びに教育実習計画に従い学生の教育実習を実施するため、附属中学校、附属小学校及び附属幼稚園を設置しています。

総定員	学級数	児童・生徒数						計
		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
附属中学校	480	12	154	155	154			463
特別支援学級	24	3	5	6	5			16
附属小学校	560	18	90	88	88	87	99	550
特別支援学級	24	3	5		6		3	14

総定員	年齢	学級数	園児数			計
			3歳児	4歳児	5歳児	
附属幼稚園	144	3歳児	1	24		133
		4歳児	2		56	
		5歳児	2		53	

奈良の地で
学び創造、
学び発信。

奈良教育大学
2015年 大学概要

奈良教育大学
イメージキャラクター
「なつきん」



ユネスコ・スクール加盟校
本学は、ユネスコが推進している理念を学校現場で実践することを目的としている「ユネスコ・スクール」に、平成19年、日本の大学として初めて加盟しました。

奈良教育大学の目的

奈良教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

大学の基本的な目標

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、高い知性と豊かな教養を備えた人材、とりわけ人間形成に関する専門的力量を備えた有能な教育者を育てることを使命とします。

その実現のため、学士課程においては、学校教育に関わる多様な資質と教育の現代的課題に応える教育実践力を備えた初等中等教育教員を養成するとともに、生涯学習社会における広い意味での教育者、国際化・環境・情報・芸術・文化等の教育の多様なニーズに対応する専門的職業人を育成します。

大学院課程においては、学士課程との連携を図るとともに、現職教員及び社会人のリカレント教育を含む高度専門職業人としての、リーダーシップを発揮できる教員及び教育者の養成を行います。

大学の特色（奈良教育大学の3つの柱）

1. 「少人数教育」による教育・研究の充実

本学は、対話形式を重視した学生参加型の授業、研究室ゼミにおける懇切丁寧な卒業論文指導を行っています。小規模大学の特性を生かした「少人数教育」に基づく充実した指導によって、確かな学力の基盤のうえに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力といった学びを創造し、その成果を発信する力を着実に身につけることができます。

本学の卒業生に対するアンケート結果では、本学で学び、本学を卒業したことへの満足度が8割を超え、その理由として学生と教員との距離が近いことが特に多く挙げられています。「少人数教育」は、まさに本学の特色と言えます。

2. 「奈良・世界遺産」を生かした教育・研究の充実

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然と世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。世界中から観光客が訪れるこの地でキャンパス・ライフを送ることは、国際交流、異文化理解、日本文化理解にとって、得がたい経験となります。本学は、その利点を生かして、講義や行事、教育活動において、奈良特有の自然環境や文化遺産に触れ、その理解を深めるさまざまな機会を設けています。近隣の国立博物館との交流も積極的に行っています。このような体験や学習を通して、日本の伝統文化への理解やそれを外へ発信する国際感覚を養うことができます。

3. 「体験型キャリア教育」による教育・研究の充実

本学は、全国の先導的取組として「理数科離れ」に対応した「理数教員養成プログラム」をはじめとして、県内各地・学校との連携による実践的で専門性に優れたキャリア教育を充実させています。

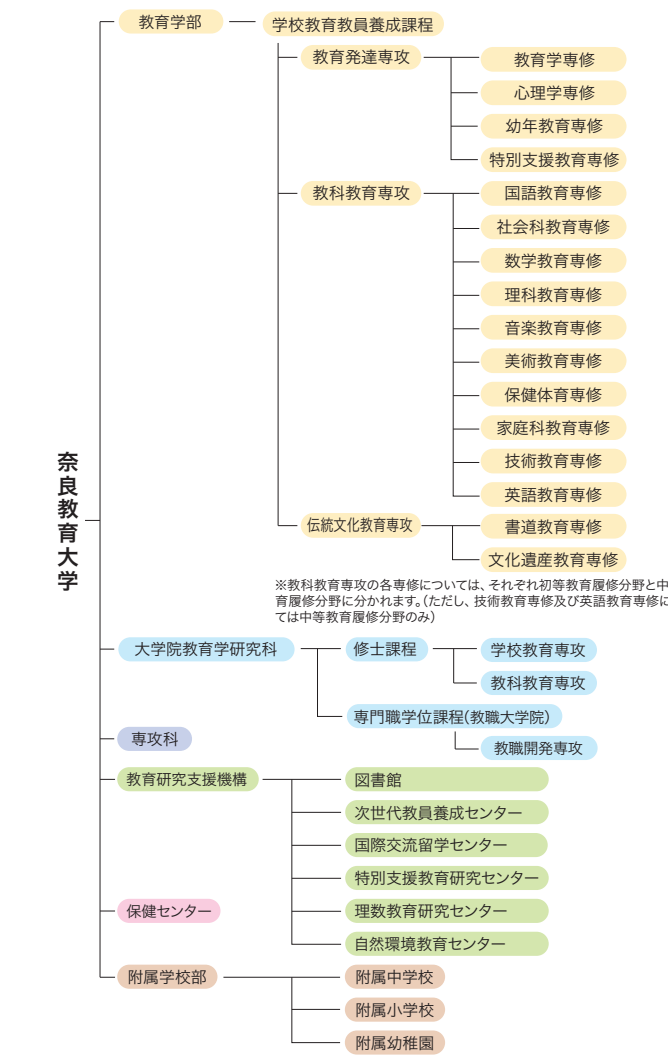
また、教育委員会との連携により、学校教育支援活動として学生ボランティアによるスクールサポーターを学校・園へ派遣するなど教員養成大学の特性を活かした地域への貢献活動を行うとともに、スクールサポーターとしての力量を高めるための研修も行っています。入学から卒業まで一貫した体験学習を含むこのような取組を通して、社会から要請される実践的指導力を育成することができます。



本学の歴史

明治 7(1874)年	教育伝習所として興福寺内に「事業書院」創設
明治 8(1875)年	奈良(小学)師範学校と改称
明治 21(1888)年	奈良県尋常師範学校創設
昭和 24(1949)年	国立学校設置法の公布により奈良学芸大学設置
昭和 41(1966)年	奈良教育大学と改称
昭和 58(1983)年	大学院教育研究科修士課程設置
平成 16(2004)年	国立大学法人法の公布により国立大学法人奈良教育大学設置
平成 20(2008)年	大学院教育研究科専門職学位課程(教職大学院)設置 創立120周年(奈良県尋常師範学校創設より)
平成 24(2012)年	教育学部改組(入学定員255名すべてを 学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程の募集停止) 教育研究支援機構(入学生255名すべてを 奈良教育大学と改称)
平成 26(2014)年	大学附属センターを再編

教育研究組織機構図



※教科教育専攻の各専修については、それぞれ初等教育履修分野と中等教育履修分野に分れます。(ただし、技術教育専修及び英語教育専修については中等教育履修分野のみ)

教育学部紹介

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、小学校、中学校、幼稚園、特別支援学校といった学校種別ごとの養成課程を統合し、学校種や教科の枠をこえ、幼児・児童・生徒の発達を基礎に育て実践力豊かな教員を養成する課程です。

主として「義務教育を幅広く見渡し」「異職種に柔軟に対応できる教育的力量」「授業・教育指導のための実践的力」「問題をかかえる子どもたちに対する臨床的力」「現代的課題への積極的な対応力」の形成をめざしています。

総合教育課程（平成24年度の学部改組により募集停止）

総合教育課程は、21世紀にふさわしい学際性と総合教育の視野をもって、学生の豊かな感性と資質・能力を培う新時代対応型の課程として設置されました。今日の、多様で広域的、かつ緊急な課題や要請に対し、それに応えられる思考能力や専門知識と技術を獲得し、表現能力や創造的精神の旺盛な学生を育成することをめざしています。

大学院紹介

教育学研究科(修士課程・専門職学位課程(教職大学院))

教育学研究科は、学校教育に関する学問の体系及びその応用としての教育実践、教育臨床の高度化と多様化に応えるため、教育研究の学問的基礎力と現代的な教育課題への対応力を有する教員・教育者、専門的知識と優れた資質を有する高度専門職業人としての教員・教育者を養成します。また、現職教員に対する大学院教育の一層の充実を図ります。

取得可能な教員免許状・資格

学校教育教員養成課程

- ・幼稚園教諭一種
- ・小学校教諭一種
- ・中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- ・高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、工業、家庭、英語、情報^{※1}、書道^{※1})
- ・特別支援学校教諭一種(「知的障害者に関する教育の領域」、「肢体不自由者に関する教育の領域」、「病弱者に関する教育の領域」)
- ・養護教諭一種

総合教育課程（平成24年度の学部改組により募集停止）

- ・中学校教諭一種(社会、数学、理科、美術)
- ・高等学校教諭一種(地理歴史、公民、数学、理科、美術、書道、情報)

大学院(修士課程、専門職学位課程)

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要な単位を修得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能です。

取得可能な資格

- ・社会教育主事
- ・学校図書館司書教諭
- ・保育士(教育発達専攻^{※2}・幼年教育専修の学生に限る)
- ・博物館の学芸員
- ・スポーツ指導者
- ・認定心理士(教育発達専攻^{※2}・心理学専修の学生に限る)
- ・教育支援人材
- ・教育支援人材(こどもパートナー・こどもサポーター(学校活動型)、こどもサポーター(バリエーション)、こどもサポーター(ESD)、こどもサポーター(ICT活用))
- ・学校心理士申請のための基礎資格(大学院修士課程 教育心理学専修の学生に限る)
- ・臨床発達心理士申請のための基礎資格(大学院修士課程 教育臨床・特別支援教育専修の学生に限る)

※1 平成24年度以降入学者のみ。

学生数

	収容定員	男	女	計
学校教育教員養成課程	1,020	498 (1)	605 (5)	1,103 (6)
総合教育課程	—	10	7	17
教育学部計	1,020	508 (1)	612 (5)	1,120 (6)
修士課程	100	53 (4)<10>	49 (5)<3>	102 (9)<13>
専門職学位課程(教職大学院)	40	29 <4>	19 <4>	48 <8>
大学院計	140	82 (4)<14>	68 (5)<7>	150 (9)<21>

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

教職員数

学長・理事	大学教員	附属学校教員	事務職員
3	106	67	63

非常勤教職員を除く。

平成27年度入学状況

教育学部

		専修等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	13	60(2)	14	13
		心理学専修	13	53(6)	13(3)	13(1)
		幼年教育専修	11	75(2)	13	13
		特別支援教育専修	11	46(3)	11(1)	11(1)
		地域推薦	7	28	7	7
	教科教育専攻	国語教育専修	24	120	26	26
		社会科教育専修	24	115(1)	26	25
		数学教育専修	25	143	29	27
		理科教育専修	28	137	30	30
		音楽教育専修	17	88(1)	18	17
		美術教育専修	10	29	10	10
		保健体育専修	18	107	20	20
		家庭科教育専修	8	31(1)	10	8
		技術教育専修	4	12	5	5
		英語教育専修	12	88(2)	14	13
		地域推薦(中等教育履修分野のみ)	8	17	8	8
		伝統文化教育専攻	書道教育専修	15	74	16
	文化遺産教育専修		7	31	9	7
	計		255	1,254(16)(2)	279(4)	269(2)

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は帰国生徒特別入試を外数で示す。

大学院

専攻等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
修士課程	学校教育専攻	10 (5)<2>	8 <2>	8 <2>
	教科教育専攻	40 (8)<1>	42 (4)<1>	40 (4)<1>
専門職学位課程(教職大学院)	教職開発専攻	20 40<5>	33<5>	28<5>
	計	70 100 (13)<8>	83 (4)<8>	76 (4)<8>

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

学生支援・学生の取組

奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生を対象に、学費援助の一環として奨学金制度があります。

奨学生

学部	大学院	計
日本学生 支援機構 有利子(第2種) その他 計	無利子(第1種) 有利子(第2種) その他 計	150 209 4 363
		29 4 0 33
		179 213 4 396

入学科及び授業料の減免

経済的理由によって入学科、授業料の納付が困難で、かつ学業成績優秀と認められる者を対象として、入学科、授業料を免除及び徴収猶予する制度があります。

平成26年度には、在学生の12.1%が免除を受けています。

学生企画活動支援事業

本学学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、もって優れた教員として、又、社会人として成長することを目的としています。

平成27年度採択事業

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
美園ふれあいコンサート ～音楽に親しんでもらおう!～	通年	地域の幼稚園や小学校で楽器の演奏会を行い、生の音楽や楽器に触れることで音楽の楽しさや美しさを伝える	地域の方、幼児、児童	奈良市内の幼稚園・小学校等
作ってハッピー☆造形ひろば	大学祭期間中	「ものづくり」を通して交流する場を提供し、普段の生活ではあまりできない造形活動を地域の子どもたちと実施する	地域の児童、生徒とその保護者	本学
なっちゃんクッキングスタジオ	通年	調理を行うことで食の楽しみを味わい、それを通して食の大切さに気づき、学生の食意識の向上を図る	本学学生	本学
学生オペラ2016 「オースティン・森で夢で見る魔法のメロディ」	通年	学生オペラ WA モーツァルト作曲「魔笛」	一般の方・本学学生	本学講堂
ウィンターキャンプ 障害を持つ子どもたちと笑顔で～互いに学び支えあおう～	平成28年 2月(予定)	障害のある子ども達に盲点経験することのできないような雪遊びなどを体験するスキー・キャンプを実施	障害のある子どもとその保護者	近郊のスキー場
Calligraphy in Melbourne ～外国人への書道の指導～	平成27年 8月9日～21日	オーストラリアのメルボルン、パラトゥの小学校、高校、大学を訪問し、書道の授業やデモンストラーション、展示会を実施	オーストラリアのメルボルン、パラトゥの小学校、高校生、大学生や一般の方	オーストラリアのメルボルン、パラトゥ
ESD実践勉強会 ～古都奈良から未来へ～	通年	学生のユネスコ活動、ESD活動への興味関心を増進させるための勉強会を開催	本学学生	本学、野上活動センター

http://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/extracurricular/planning.html

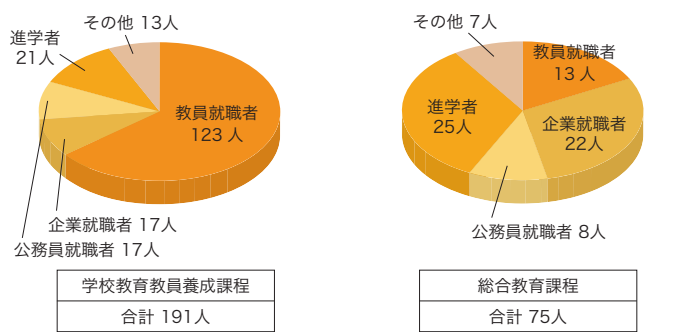


就職支援・進路

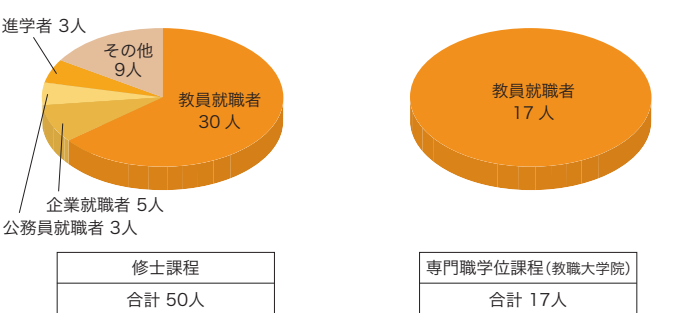
就職支援室を設置し、様々な対策講座や模擬面接、模擬授業、実技試験の練習場所開放などを行っています。また、教員採用試験受験者向けと企業就職者向けにそれぞれ就職相談員を配置しています。

卒業生の進路先

平成27年3月卒業生

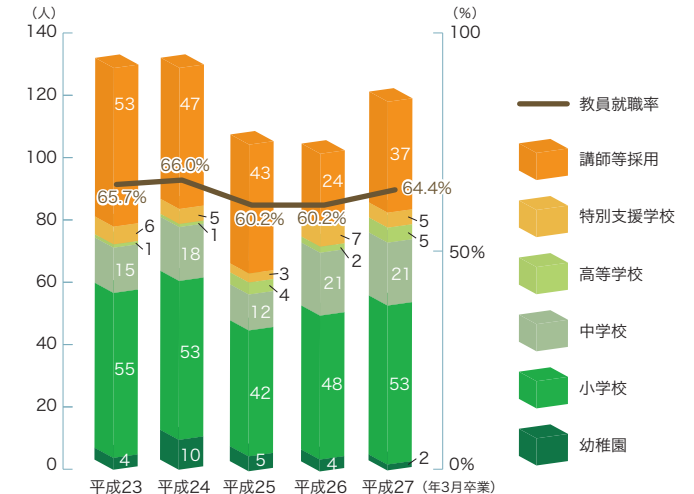


大学院



過去5年間の教員就職者の推移

学校教育教員養成課程卒業生の教員就職の推移



教育研究支援機構

図書館

教育・研究のため、図書・雑誌を揃え、学生及び教職員のほか、地域の方へ貸出しています。また、文献検索及び文献所蔵調査等により、調査・研究の援助を行っています。教員志望の学生が実践的教育力や指導・課題探究の向上を図るため、多様な学修活動に対応した「学修空間」として「ラーニング・commons」や「グループ学習室」、「えほんのひろば」を設置しています。

蔵書数

	和書(冊)	洋書(冊)	計(冊)	和書(種)	洋書(種)	計(種)
蔵書数	280,482	45,380	325,862	5,162	861	6,023
平成26年度入人数	3,351	386	3,737	821	76	897

教育資料館

我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料の収集、調査研究が行われています。また、世界遺産に関するビジュアルな情報を提供する「世界遺産ミニシアター」を設置しています。

次世代教員養成センター

教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置される「連携拠点」の一つとして、平成25年7月1日に設置されました。ICT活用を含む実践的教育力・指導力の向上、課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センターは、「情報教育部門」「ESD・課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

国際交流留学センター

文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に、国際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支援し教員養成大学としての国際交流を推進することを目的としています。

自然環境教育センター

学生・児童・生徒及び地域住民に、授業、公開講座並びに自然教室などの事業を通して自然環境教育を行うとともに、それらに関する基礎的研究を行っています。

特別支援教育研究センター

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的に、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進しています。センターには、児童精神科医、特別支援教士 SV、臨床心理士、臨床発達心理士、作業療法士などを配属しています。

理数教育研究センター

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域と現場と一体となって取り組んでいます。本センターは、ICT支援教育開発、地域連携等を行う「教育プログラム推進部門」、学内に各種実験機材を備えたオープン・サイエンス・ラボの運営等を行う「先端科学教育部門」等からなり、理数教育プログラムの開発、SST(スーパーサイエンスティーチャー)養成、公教育の支援のほか、理工系学部との連携や国際協力等の事業を展開しています。

保健センター

健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、対人関係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。



入試情報

平成28年度入試日程(平成28年4月入学者)

教育学部	入試区分	出願期間		試験日
		推薦入試	地域枠一般枠	
大学院教育学研究科	前期日程		11月2日(月)～11月6日(金)	12月19日(土)
	後期日程		1月25日(月)～2月3日(水)	2月25日(木)3月12日(土)
	修士課程	9月募集	7月31日(金)～8月6日(木)	9月5日(土)
		2月募集	12月4日(金)～12月10日(木)	2月6日(土)
専門職学位課程	11月募集	9月募集	7月31日(金)～8月6日(木)	9月6日(日)
		2月募集	10月23日(金)～10月29日(木)	11月14日(土)
			12月4日(金)～12月10日(木)	2月7日(日)

※推薦入試(地域枠)とは、奈良県内の高等学校等を対象とした推薦入試です。

※教育学部前期日程、後期日程においては、平成28年度入試から、インターネットによる出願を導入します。

※詳しくは各募集要項をご覧ください。

入試情報に関するお問い合わせ先

奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126 nyuusi@nara-edu.ac.jp

お問い合わせ先

- ☐ 入試に関すること(入試課) 0742-27-9126
- ☐ 学生の求人に関すること(学生支援課就職担当) 0742-27-9129
- ☐ 公開講座に関すること(企画連携課国際交流・地域連携担当) 0742-27-9108
- ☐ 施設利用(外部貸付)に関すること(財務課総務・決算担当) 0742-27-9112
- ☐ 研究協力・産学連携、寄付金に関すること(教育研究支援課学術・研究担当) 0742-27-9135
- ☐ 図書館の利用に関すること(図書館) 0742-27-9137
- ☐ ホームページ、広報誌、その他お問い合わせ全般(総務課秘書・広報担当) 0742-27-9104

